

水辺のレジャーにおけるライフジャケットの着用と安全な使用に係る今後の取組（提言案）

	着用	安全性	適切な使用																																	
現 状	○ライフジャケット着用率 ・「水遊び」「遊泳」、「釣り（陸上から）」などで着用率が低い傾向がある。 ・子供と比較して、大人の着用率が低い。 <table><tr><td rowspan="7">着用率</td><td colspan="3">海のレジャーに伴う水難者（全国過去 10 年間）</td></tr><tr><td colspan="3">磯遊び 1.8% 遊泳 4.2% 釣り 25.7%</td></tr><tr><td colspan="3">実地調査（都内の水辺、10 か所）</td></tr><tr><td>活動内容</td><td>大人</td><td>子供</td></tr><tr><td>水遊び・遊泳</td><td>2.5%</td><td>21.3%</td></tr><tr><td>釣り（ボート上除く）</td><td>8.9%</td><td>4.5%</td></tr><tr><td>ボート（カヌー等）</td><td>90.4%</td><td>96.0%</td></tr><tr><td colspan="3">アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)</td></tr><tr><td colspan="3">着用者が少ない傾向の活動： 水遊び・遊泳、魚とり、釣り（陸上から）</td></tr></table>	着用率	海のレジャーに伴う水難者（全国過去 10 年間）			磯遊び 1.8% 遊泳 4.2% 釣り 25.7%			実地調査（都内の水辺、10 か所）			活動内容	大人	子供	水遊び・遊泳	2.5%	21.3%	釣り（ボート上除く）	8.9%	4.5%	ボート（カヌー等）	90.4%	96.0%	アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)			着用者が少ない傾向の活動： 水遊び・遊泳、魚とり、釣り（陸上から）			○法令、規格 ・小型船舶乗船時を除くレジャーでは、着用義務はない。 ・水遊びなどで着用するライフジャケットに強制規格はなく、販売されている商品は性能基準が有るものと無いものが混在している。 <table><tr><td rowspan="2">主な性能基準</td><td>〔国内〕 ・小型船舶用救命胴衣等の型式承認試験基準（桜マーク） ・レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準（CS マーク） ・RAC 川育ライフジャケット認定規則（RAC 川育ライフジャケット認定マーク）</td></tr><tr><td>〔海外〕 ・米国：UL12402 等（USCG 承認、UL マーク） ・欧州：EN ISO12402（CE マーク）</td></tr></table>	主な性能基準	〔国内〕 ・小型船舶用救命胴衣等の型式承認試験基準（桜マーク） ・レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準（CS マーク） ・RAC 川育ライフジャケット認定規則（RAC 川育ライフジャケット認定マーク）	〔海外〕 ・米国：UL12402 等（USCG 承認、UL マーク） ・欧州：EN ISO12402（CE マーク）	○不適切な使用事例 ・緩く着用したことで脱げた、脱げそうになった、体が十分に浮かばなかったとの経験が複数確認された。また、サイズが大きく脱げそうになった経験も確認された。 <table><tr><td rowspan="2">不適切な使用事例</td><td>アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人) 〔緩く着用〕 ・締め忘れて脱げてしまった。 ・紐の締め付けが甘く脱げそうになった。 ・ゆるく絞めていたので、隙間ができて身体が半分沈んでしまった。 〔大きいサイズを着用〕 ・サイズが大きいのので脱げそうになった。</td></tr></table>	不適切な使用事例	アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人) 〔緩く着用〕 ・締め忘れて脱げてしまった。 ・紐の締め付けが甘く脱げそうになった。 ・ゆるく絞めていたので、隙間ができて身体が半分沈んでしまった。 〔大きいサイズを着用〕 ・サイズが大きいのので脱げそうになった。
	着用率		海のレジャーに伴う水難者（全国過去 10 年間）																																	
			磯遊び 1.8% 遊泳 4.2% 釣り 25.7%																																	
			実地調査（都内の水辺、10 か所）																																	
			活動内容	大人	子供																															
水遊び・遊泳			2.5%	21.3%																																
釣り（ボート上除く）			8.9%	4.5%																																
ボート（カヌー等）		90.4%	96.0%																																	
アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)																																				
着用者が少ない傾向の活動： 水遊び・遊泳、魚とり、釣り（陸上から）																																				
主な性能基準	〔国内〕 ・小型船舶用救命胴衣等の型式承認試験基準（桜マーク） ・レジャー用ライフジャケットの性能確認試験基準（CS マーク） ・RAC 川育ライフジャケット認定規則（RAC 川育ライフジャケット認定マーク）																																			
	〔海外〕 ・米国：UL12402 等（USCG 承認、UL マーク） ・欧州：EN ISO12402（CE マーク）																																			
不適切な使用事例	アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人) 〔緩く着用〕 ・締め忘れて脱げてしまった。 ・紐の締め付けが甘く脱げそうになった。 ・ゆるく絞めていたので、隙間ができて身体が半分沈んでしまった。 〔大きいサイズを着用〕 ・サイズが大きいのので脱げそうになった。																																			
	○非着用、非所有理由 <table><tr><td>非着用理由</td></tr><tr><td>・水深が浅く溺れる危険性がない（34.6%） ・転落や流される危険性が少ない（21.8%） ・持っていなかったから（20.1%）</td></tr><tr><td>非所有理由</td></tr><tr><td>・使用頻度が少ない（大人用 34.1%、子供用 30.0%） ・レンタルすればいい(大人用 31.7%、子供用 34.4%)</td></tr></table>	非着用理由	・水深が浅く溺れる危険性がない（34.6%） ・転落や流される危険性が少ない（21.8%） ・持っていなかったから（20.1%）	非所有理由	・使用頻度が少ない（大人用 34.1%、子供用 30.0%） ・レンタルすればいい(大人用 31.7%、子供用 34.4%)	○消費者の意識 ・ライフジャケットを選ぶ際に重視する点は、大人用では「価格」の次に「安全性」を挙げる人が多く、子供用では「安全性」を挙げる人が最も多い。 <table><tr><td rowspan="5">重視点上位</td><td colspan="4">アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)</td></tr><tr><td colspan="2">所有者</td><td colspan="2">非所有者</td></tr><tr><td>大人用</td><td>子供用</td><td>大人用</td><td>子供用</td></tr><tr><td>1 価格</td><td>安全性</td><td>価格</td><td>安全性</td></tr><tr><td>2 安全性</td><td>浮力</td><td>安全性</td><td>価格</td></tr></table>	重視点上位	アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)				所有者		非所有者		大人用	子供用	大人用	子供用	1 価格	安全性	価格	安全性	2 安全性	浮力	安全性	価格	○検証実験 ・調節ベルト等を緩めて着用した際の浮遊状況を検証した。緩く着用した場合は、適切な着用時と比較して口元高さ（水面から口元までの垂直距離）が低くなったほか、条件によっては口位置が水面下になる場面もあった。 ・過大なサイズ着用時も同様に検証した結果、検体や条件によっては適切なサイズ着用時と比較して口元高さが低くなった。								
非着用理由																																				
・水深が浅く溺れる危険性がない（34.6%） ・転落や流される危険性が少ない（21.8%） ・持っていなかったから（20.1%）																																				
非所有理由																																				
・使用頻度が少ない（大人用 34.1%、子供用 30.0%） ・レンタルすればいい(大人用 31.7%、子供用 34.4%)																																				
重視点上位	アンケート調査(水辺レジャー経験者 2000 人)																																			
	所有者		非所有者																																	
	大人用	子供用	大人用	子供用																																
	1 価格	安全性	価格	安全性																																
	2 安全性	浮力	安全性	価格																																
○要望 <table><tr><td>こうであれば使いたいと思う点・改善点</td></tr><tr><td>・持ち運びやすさ、保管しやすさ（28.6%） ・動きやすさ（25.2%） ・メンテナンスの容易さ（22.5%）</td></tr><tr><td>必要と思う取組等</td></tr><tr><td>・購入しやすい価格帯の商品の普及（31.2%） ・持ち運びしやすい商品の普及（27.6%） ・レジャー場所やその近隣での貸出（23.7%）</td></tr></table>	こうであれば使いたいと思う点・改善点	・持ち運びやすさ、保管しやすさ（28.6%） ・動きやすさ（25.2%） ・メンテナンスの容易さ（22.5%）	必要と思う取組等	・購入しやすい価格帯の商品の普及（31.2%） ・持ち運びしやすい商品の普及（27.6%） ・レジャー場所やその近隣での貸出（23.7%）	○第 1 回協議会での委員意見 ・性能基準に適合したものでも、活動環境（流水等）やレジャー内容によっては、密着性が足りず脱げてしまうことなどもある。	○使用方法等の認知状況 ・取扱説明書や本体表示については、多くのライフジャケット所有者が読んでいた一方、ベルトの締め付け不足やサイズ違いで脱げる場合があることの認知度は低かった。 ・重量物で浮力体が潰れ浮力が低下する恐れがあることの認知度は低く、性能が低下したものを継続使用している人も存在すると考えられる。																														
こうであれば使いたいと思う点・改善点																																				
・持ち運びやすさ、保管しやすさ（28.6%） ・動きやすさ（25.2%） ・メンテナンスの容易さ（22.5%）																																				
必要と思う取組等																																				
・購入しやすい価格帯の商品の普及（31.2%） ・持ち運びしやすい商品の普及（27.6%） ・レジャー場所やその近隣での貸出（23.7%）																																				
課 題	・着用率が低い水辺のレジャー活動をする人を中心に、ライフジャケットの購入、着用の検討を促す必要がある。また、子供だけでなく、大人も着用の検討が必要なことも訴求する必要がある。 ・ライフジャケットへの要望を反映させ、「これなら購入したい、着用したい」と感じさせるライフジャケットの実現を図る必要がある。	・性能基準適合を示すマーク等の認知度の向上を図る必要がある。 ・ライフジャケット選択時に注意が必要な活動環境やレジャー内容、ライフジャケットの特性を踏まえた着用時の注意点などについて、周知する必要がある。	○サイズ表示 ・「目安身長・体重・胸囲」が表示されているもの、「推奨身長」のみが表示されているものなど、商品によって表示されているサイズの項目が異なっている。 ・誤った着用方法や性能が低下したライフジャケットの使用を減らすため、ライフジャケットの使用者に正しい使用方法等を理解してもらう取組が必要である。																																	
提 言 （ 案 ）	○着用の促進 ・ライフジャケットの着用効果の訴求 → 着用時と非着用時の口位置の差、着用により助かった事例等を広報 ・ライフジャケットの一般化 → 水辺でのレジャー活動時はライフジャケットを準備するのが一般的となるような啓発（例：リーフレット配布など） ○消費者の要望を反映した商品展開 ・要望が多い次の特徴や機能を併せ持つ商品の展開を検討 → 持ち運びや保管がしやすいもの（例：折り畳み式、収納用バッグの付属 など） → 着用時に動きやすいもの（例：浮力体を分割配置したもの など） → 保守点検が容易なもの（例：ガスボンベ等の交換が不要な呼吸膨脹式 など） → 使用機会を増やす工夫があるもの（例：調整幅が広く共用が可能、水辺のレジャー全般で使用可能 など） → レンタル向けのもの（例：高耐久、バックルなどの部品交換が可能 など）	○性能基準適合マーク等の周知 ・適合マーク等とその安全性能を紹介 → 性能基準や区分等が複数あり複雑で消費者が理解しづらいため、簡潔でわかりやすい情報提供を心掛ける ○注意が必要な活動環境等の周知 ・ライフジャケット選択時に注意が必要な活動環境やレジャー内容などを紹介（例：流水環境では、体に密着するよう調節できるものを選択 など） ○表示の改善 ・以下を商品説明や取扱説明書等に表示する推奨される活動環境、レジャー内容 → 万が一の落水に備えるのに適している、水に入る活動に適している など	○正しい使用方法等の周知 ・適切な締め付け具合の確認方法（例：肩部を持ち上げずり上がらないことを確認 など） ・性能低下のチェック方法（例：浮力体の潰れや偏りがいないか、生地劣化がないか など） → 緩めて着用した時や浮力体が潰れたものを着用した時の浮き方などを併せて広報 ○表示の改善 ・以下を消費者の目に入りやすい形で表示 適用身長・体重・胸囲、着用方法、保管方法 → 本体への印字、イラストでの図解 など ○試着の推奨 ・自身の体のサイズに合った商品を選択することが大切なため、試着してから購入することを推奨																																	
(再掲) 検討外とするもの 本協議会では主に「商品安全」の観点で検討を行うため、以下の内容は、原則検討外とする。 ○ 場所・活動内容による着用、非着用の是非 ○ 着衣水泳指導など水難時の対処への教育 ○ 災害時の着用や備蓄 など																																				